



令和4年 3月議会 報告

気になる議案・予算

うきうき商品券 (3億円)
プレミアム率 25%
リフォーム商品券 (1億円)
プレミアム率 25%

 コロナ禍の影響でどの職種も厳しい状況です。今年も町内の経済対策のために商品券が発行されます。

公共交通 (西鉄バス、コミュニティバス、乗り合いタクシー)
整備事業 1億2千万円

10月からの西鉄バス波津線の撤退に伴い、ミニバスでの運行を行うための車両購入が計画されています。併せて乗り合いタクシー (デマンド交通) の範囲が拡大されます。そのためスマホやパソコンからの予約システムが導入されます。

 **出前講座で「乗活」事業実施中**
コミュニティバスの乗り方や時刻表の見方などを案内する出前講座を開催中。詳しくは
岡垣町役場都市建設課・都市計画係へ
高齢者運転免許証自主返納支援としてコミュニティバスの回数券90回分などを無料交付しています。



波津漁港活用のため
(170万円)

波津漁場を改修し、特産品の開発とブランド化を計画しています。今後、波津で水揚げされた海産物を原材料として商品化し、販売していく予定です。ふるさと納税の返礼品としての活用も期待されます。

ボランティアセンターが
地域交流センターから
いこいの里に移設されます。



現在、地域交流センターの賃貸料が年間800万円と電気代や駐車場代など年間約200万円かかっています。賃貸契約は来年3月末で終了するため、地域交流センターに事務所を置いている様々な団体と、これから移転の準備を進められていきます。

ボランティアセンターがいこいの里に移設されることにより、社協の団体や人材などつながりを密にすることができます。また、災害時には社協が立ち上げる「災害ボランティアセンター」との情報を共有しながら支援体制を整えることもできます。今後、利用者の交通の便が課題です。

5~11歳の新型コロナワクチン接種については 特に慎重に判断しましょう



新型コロナワクチンの接種は強制ではありません。小児へのワクチン接種は、新型コロナウイルスに対する高い発症予防効果や現時点で安全性に重大な懸念は認められていないことが報告されていますが、オミクロン株についての発症予防効果・重症化予防効果に関するエビデンス (根拠) が必ずしも十分でないことなどから、予防接種法上の「努力義務」の対象とされていません。

接種を受けるかどうかは、ワクチンの有効性や副反応などを踏まえて、お子さんと話し合って判断してください。また、接種を受けることに不安がある人は、事前にかかりつけ医に相談してください。

一般質問 その後 こんなに変わりました



【令和3年12月議会】で 総合案内について

初めて役場を利用する方が困らないように、総合案内を分かりやすくして欲しいと要望しました。⇒おかがきPR課が4月から玄関横に設置されたのに合わせて、受付カウンターの総合案内の標記が大きくなりました。おかがきPR課とイメージが統一された総合案内になりました。

【令和3年9月議会】で ヤングケアラーの支援について

国の調査では、世話をしている家族がいる子どもの割合は、中学生17人に1人、高校生24人に1人、クラスに1~2人はいることとなります。岡垣町ではまだ該当する児童生徒は報告されていないとのことですが、周知をして欲しいと要望しました。⇒HPに掲載されました。今後、学校などへのポスター掲示を求めていきます。



子どもが子どもでいられる街に。
令和4年1月30日に開催されたヤングケアラーについて理解を深めるシンポジウムを見ることができます。

厚労省HP⇒

